令和２年度　第２回大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科
介護保険部会　会議要旨

１　開催日時　　令和2年9月29日（火）　午後2時～4時

２　議題等

１　大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和３年度～５年度）の策定について

第８期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（素案）

第１章～第８章（案）　・・・・・・・・資料１　資料２

２　介護保険給付に係る費用の見込み等について　・・・・・・・・・・・・資料３

（高齢者人口、要介護（要支援）認定者数の推計）

報　告

大阪市の要介護認定率、サービス利用等の現状について（区別版）・・・・・資料４

３　委員発言

【議題１】

○事務局から、資料１～資料２に基づき、大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和３年度～５年度）策定に係る第８期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（素案）第１章～第８章（案）について説明。

（主な意見）

・　ひとり暮らし調査（本人調査における世帯比較結果）を見ると、孤独死について「身近に感じる」と「やや身近に感じる」をあわせた割合は 60.8%となっており、不安を抱えたひとり暮らし高齢者が非常に多いことがわかる。さまざま支援策があると思われるが、不安に感じる方が多い現状において、このような方々に対して、支える側の具体的な活動を示す必要がある。

ひとり暮らし調査（本人調査における世帯比較結果）を見ると、「在宅で提供される医療」について、「知らない」と答えている方が多い。社会資源はあるけれども知らない、アクセスする方法がわからない人が多いと思われるため、ひとり暮らしの方々への情報発信を検討する必要があるのではないか。

・　有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅でもないような高齢者向けの住まい・施設のようなものもあるのではないかと思うが、そういった住まいに対する規制や指導などはどのようになっているか。今後、指導されていく予定はあるのか。

・　「医療従事者等の認知症対応力向上の促進」の記載について、かかりつけ医、歯科医、薬剤師への認知症対応力向上研修は以前から実施されているが、計画案に記載されているのは、認知症サポート医の養成を一層推進するなど、養成を推進するとの内容になっている。もう何年も、かかりつけ医、歯科医、薬剤師への研修を行っているので、養成した方をもっと具体的に活用するような内容を記載できないか。薬局の薬剤師は既に一定数が研修を受けているので、具体的な活動を示していただければと思う。

・ 今後高齢化が進んでいく中で看取りが重要な問題になってくる。看取りについては大きな課題になっていると思われるため、具体的な目標や、大阪市における考え方などを示すことができないか検討をお願いしたい。

【議題２】

○事務局から、資料３に基づき、介護保険給付に係る費用の見込み等について説明。

（特に意見無し）

【報告事項】

○事務局から、資料４に基づき、大阪市の要介護認定率、サービス利用等の現状（区別版）について説明。

（主な意見）

・ 訪問介護事業所の数が多い地域は、給付費が高いとの相関の資料がある。このような状況について、事業者のニーズによって給付費が上がってしまっていることが考えられるのでは。要因は複数考えられると思われるので、すぐにはわからないと思うが、引き続き丁寧な分析をお願いしたい。

・ 地域ケア会議においては１つのケースに多職種が関わることになる。計画素案には、地域ケア会議の充実を進めていくとの考え方が示されている。地域ケア会議の中に出てきたケースを具体的にどのようにチェックしていくのか、ケアマネジャーだけではなく、多種多様な職種でチェックすることも適正さをチェックする方法になるのではないかと思う。

・ 大阪市で進めている介護予防のポイント制度も必要になってくるのではないか。利用者のニーズはあるが、提供する側と利用者とのマッチングがうまくいってないのではないかという点もあるのではないかと思う。そういうことも今後の課題として進めていっていただきたい。